花高進路通信

第１０号（最終号）　秋田県立花輪高等学校進路指導部　　令和６年３月２１日発行

卒業生進路体験講話（合格体験発表会）を実施しました　３月１１日（月）

今月１日に本校を卒業したばかりの卒業生１７名を迎え、在学中の学習や進路活動等について後輩に講話をしてもらいました。部活動や学校行事をはじめ、学校の先頭に立って頑張る姿をいつも見てきた先輩方の話は、１・２年生の皆さんにとって非常に現実的で、説得力のあるものだったと思います。卒業生の講話には、もちろん進路先によって取り組む内容が異なる部分はありましたが、「普段の生活や授業を大事にすること」や「目標を早いうちに定めておくこと」、そして「継続する（繰り返す・何度もやる）こと」など、共通している部分も多くありました。今回の講話を通して、これからの学習や進路活動に対する意欲が高まり、気持ちを新たにした人も多いと思います。ぜひその意欲や気持ちを行動に生かし、将来に向かっていきましょう。（↓写真：上段が就職分科会、下段が進学分科会の様子です。）

～生徒(1･2年生)の感想より（一部）～ ＜就職分科会＞

- 人によって集中できる勉強方法がかなり違うことを知ったので、早めに自分が集中しやすい勉強方法や環境を見つけて効率よく勉強していきたいです。また、私はとても緊張しやすいので、今回先輩方が言っていたように、あわてないように、少しでも多くの時間を面接の練習にあてたいです。
- 今日の体験講話を通して、「早めに勉強しておけばよかった」や「会社を早く調べておけばよかった」などと後悔が残る声が多かったので、後悔しないように職業選択をしたいと思った。受験する会社によって作文の試験があるかどうかは分からないが、誰でも言えるようなことを書いては当然受からないので、自分のアピールポイントを多く見つけて、熱意のある作文を書けるようにこれから練習したいと思った。
- 発表を通して、去年の３年生と同じようなことを言っているような気がした。しかし、「もっと早くから勉強しておけばよかった」や「余裕をもって就職先を決めておけばよかった」などは、それだけ大切だということが伝わってきた。先輩たちがアドバイスしてくれたことを大切に、来年は後輩にあまり後悔したことを伝えないようにしたい。
- 話を聞いて特に印象に残ったことは、福利・厚生を重視すること、公務員はとにかく過去問を解くことでした。民間企業に合格していた先輩方はとにかく就職先について調べていました。自分はまだ何をしたいのか決まっていないので、自分が少しでも気になったらどんどん調べていきたいと思いました。先輩方が言っていた、周りに流されないということがとても大事だと思いました。いざ自分が頑張るとなったときに周りに流されず、どれだけ自分に厳しくできるかで周りとの大きな差がつくと思いました。
- 発表してくださったみなさんは、共通して面接が一番緊張したとおっしゃっていました。面接の対策として普段から大人の言葉遣いを意識し、何回も練習することが大事だと分かりました。また、資格をある程度もっていないと履歴書に書くことができず、面接での自己アピールもできないので、資格の勉強をしようと思いました。常に最悪の事態を想定して行動することが大事だとおっしゃっていたので、その言葉を忘れずに今からできることをコツコツやりたいです。

～生徒(1･2年生)の感想より（一部）～ ＜進学分科会＞

- 去年もこのような話を聞く機会があったが、自分の進路についてあまり現実味がなかったため、話をちゃんと聞かず、２年生になっても評定などを意識して過ごしてはいなかった。だが、今回はこの話を聞いてより危機感を覚えた。毎日勉強した方が良いことや、評定は高ければ高いほど良いこと、面接は焦りや不安がないようにしておくことなど、先輩方のたくさんのアドバイスで、今後自分がどう動けば良いか分かってきた。
- 今回の発表会を通して、今の自分がやらなければいけないことがまだまだあると自覚できたので、時間を有効に使い早い段階から受験を意識して勉強していきたいと思った。1･2年では評定を意識した勉強ができたので３年生でも継続させたい。そして、１回１回の模試を大切にして定期考査同様しっかり対策を行い、結果を見て自分の苦手な科目やいつも間違えてしまう問題をチェックして、積極的に苦手・不得意をつぶしたいと思う。
- 先輩方が全員共通して言うことは、早く受験勉強をしておくべきということなので、やりたいこと、行きたい学校をしっかり考えて、できるだけ早く受験に向けて準備したいと思った。今のところ目指している学校は小論文と面接が必須になってくるので今のうちにしっかり対策しておきたい。苦手を克服するだけでなく得意を伸ばす努力をして、まんべんなく成績を伸ばして評定を上げたり、少しでも分からないことを減らせるようにしたい。
- 受験生だという自覚をもち継続的な勉強習慣を身に付けていかないとまずいと感じました。後悔しないうちに勉強を始めていきたいです。今後つらいことが続きますが人生のうちのたった一年なので勉強に全力を注ぎたいです。
- 当たり前のことだが、合うやり方は人それぞれなので自分に合った方法を早く見つけるためにも、本当に早いうちから動き始める必要があると思った。今は何となく取り組んでいることに対しても、もう少し真剣に向き合わなければならないと思うので、自分の置かれた立場や現状を理解し覚悟を決めて頑張るように切り替えていこうと思う。
- 自分は将来の夢も進路も決まっておらず、得意分野も分かっていないので、不安がたくさんある中で先輩方の体験を聞くことができてよかったです。パンフレットを集めたりオープンキャンパスに行ったりして自分のやりたいことを探すのはもちろん、文理融合型などもあるということなので、将来の幅が広がるような進路選択ができるように、どの教科もまんべんなくできるよう学習していきたいです。
- 発表を受けて、改めて定期考査の重大さを実感した。テスト期間に一気に学習しても短期記憶になるため日々の積み重ねと復習が必要になってくると感じた。私は理数教科が全体的に苦手であるため、平均点を下げないよう努力したい。また学校で行われる進路活動を行う時間も大切にしようと思う。
- どの先輩も「1･2年のうちに」や「余裕をもって」と言っていたので、早めに何事にも取り組むべきなんだと思った。また「やりたいことが分からないのは自己分析不足だ」というのを聞いて、もっと自分と向き合っていきたいと思った。面接や小論文など、いずれやらなければならないものは計画的に取り組んでいきたいと思った。
- 発表を聞いてオープンキャンパスの大切さを学びました。大学に進学するために、勉強だけでなくボランティア活動でも少しずつ経験を積んでいきたいです。さらに、苦手な教科こそ２倍、３倍と努力して苦手意識をなくし、得意な教科も伸ばしていきたいです。
- １年生のテストで、先輩と同じく赤点をとらなければそれでいいと思っていたのだが、それでは後から苦労すると分かった。２年生からはテストに向けての取り組み方を変え、順位もそこそこではなく上位を目指したい。下と比べるのではなく自分はそれでいいのかを考え、テストに臨みたい。
- 卒業生のみなさんは制服姿から一変してスーツ姿になっていて、２年後に自分がそうなることを実感しました。少し前まで同じ高校生だった先輩方が大人の立ち姿になっていて、心を動かされました。一人一人違う道があり、受験に向けての準備を早めにしておくこと、日々勉学に励むことが何よりもすべきことだと教えてくれました。

明日から春季休業です ―新年度に向けて有意義な春休みに―

春季休業は約２週間と短いですが、先輩方の講話を聞いて皆さんも実感したように、新年度に良い形でスタートをきるために非常な重要な期間です。学年が一つ上がることにより、学習内容はさらに深くなるため、学習習慣を確立させ既習事項を定着させておく必要があります。部活動や学校生活においても集団の中で果たす役割が変わり、これまで以上に多くの人が皆さんの姿勢や振る舞いに注目すると思います。さらに、これまでの花輪高校の伝統を受け継ぎ４月からは「鹿角高校」の歴史が始まることにより、例年以上に皆さんの行動に注目が集まることと思います。そのような環境の中で、自分と向き合い、将来の目標を定め、その実現に向かって思いっきり励んでいくことができるよう、ぜひ心身ともに健康で、新年度の準備をしっかり整え、短いながらも充実した時間を過ごしてくれることを期待します。

＜春季休業中～新年度当初の進路関係行事＞

- 3/26(火),27(水)　1,2年公務員ｾﾐﾅｰ
- 4/5(金)　前期始業式
- 4/8(月)　入学式
- 4/10(水)　2,3年到達度ﾃｽﾄ/基礎力診断ﾃｽﾄ
- 4/11(木)　2,3年授業開始　1年ｽﾀﾃﾞｨｰｻﾎﾟｰﾄ
- 4/12(金)　1年学びみらいPASS　1年授業開始
- 4/13(土)　3年進研記述模試/公務員模試
  (進研記述模試は4/12(金)も実施)
- 4/17(水)　1年到達度ﾃｽﾄ
- 4/18(木)　2年進路ｶﾞｲﾀﾞﾝｽ